

学校通信 誠実

中央市立田富中学校
学校だより（学校通信）
発行 校長 丹澤 博
令和3年度 1月号
2022.1.21（金）

三学期スタート

新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、お健やかに新しい年をお迎えのことと存じます。本年も昨年同様よろしくお願いたします。さて、1月7日（金）3学期がスタートしました。私は始業式の中で次の2つの話をしました。【校長より】感染症はオミクロン株に置き換わり、日本各地で、いわゆる第6波がきていますと報道されています。さて、2学期の終業式では、学園祭・修学旅行・合唱発表会、いずれにおいても短縮・制限されたものだったが、そのどれにおいても素晴らしいものがあったという話をしました。その時、言い落してしまいましたが、オンラインでの工夫された「立会演説会」や授業の中で話し合い活動や討論ができない代わりに、ジャムボード（それぞれのタブレットから打ち込んだ意見を大型提示装置に写し出したりすることのできるアプリ）を利用して、他の人の意見を知る、また、知ることを通して自分の意見を修正したりする取り組みを目にしました。話し合い活動や討論の代わりになっただけでなく、ICT活用能力も高めることができた点で、本当に素晴らしかったと思います。コロナがあったからできなかった、ではなく、このような状況だから工夫してこんなこともできたと言えるような取り組みを期待します。

3年生は、明日にも入試を控えている生徒もいて、自分の進路を見据えて、ラストスパートに入るところです。受検は団体競技・団体戦といわれます。学年学級で緊張感を高めるなかでも、互いに助け合い、励ましあい、チーム力で乗り越えてください。そのチーム力だけはほかの学校には負けないぞという気概をもって、最後の中学校生活を送ってください。そして、「田富中で良かった」と言って卒業してください。1・2年生はその姿を目に焼き付け、3年生が残してくれている伝統を更に発展させてくれることを期待します。

各学年の代表者が素晴らしい発表をしてくれました。

三年代表 曾根健志郎君

僕の3学期の抱負は3つあります。

1つ目は勉強と進路のことで、2回の教育課程到達度検査から、まだまだやらなければならないことがあるなと思い知らされました。それからは自分に足りないところを中心に努力してきました。3学期は志望校に行けるよう悔いなく取り組みたいと思います。2つ目は学級のことで、僕は学級副会長を務めています。青雲祭の時は、日頃ふざけてしまいがちな僕の話真剣に聞いてくれました。本当に感謝しています。3学期はこの学級で過ごせる最後の時間になるので1日1日を大切にしようと思います。3つ目は卒業に向けてです。実感があまりないですが僕たちはあと41日の登校で卒業です。僕たちが卒業した後、後輩たちにとっていい意味で印象に残れるよう、そして、3年間一緒に過ごしてきたこの学年をお互いに大切にしながら過ごしていきたいです。

二年代表 市川陸斗君

三学期は次の学年に向けた0学期と言われます。僕たち二年生は三年生になる準備をしっかりとしないではいけない時を迎えました。一年前は二年生の0学期と言われ、気が付けばあっという間に時間が過ぎたように感じます。これまで、学年として成長できた部分はたくさんありますが、今はまだ課題も同じくらいあります。二学期の学年集会では、課題解決に向けてマンダラートを作成しました。学年全員で課題を共有できたので、三学期は解決するために心がけた生活を送り、改善しにくい部分については声をかけ合いながら、三年生になる雰囲気学年全員で作っていきたいと思っています。

僕自身については、頑張りたいこととして、学習面では、『余裕を持った取り組みをすること』と『放置しないこと』を目標にしました。良い成績を取りたい気持ちはあるのに、テスト前に課題だけ慌てて仕上げる学習を続けたこと、苦手だと感じている教科を放置したこと、普段の家庭学習をおろそかにしてきたことは、今の自分に大きな影を落としていると感じています。受験生になるということは、今ある環境を変化させなければなりません。口だけではなく、実行できるように強い気持ちを持ってこの三学期に少しずつ学習の環境を整えたいと思います。

また、生活面では学級会長としての立場で『見て見ぬふりをしないこと』と『甘えた生活をしないこと』を目標にしました。いつも声をかけてくれる仲間を頼って自分の仕事だと気づいているのにしない自分がいました。学級会長として選んでもらった以上、



しっかりとその責任を果たせるようにしたいと思います。短い三学期だからこそ見通しを持って生活し、最上級生としての姿に近づく努力を続けていきたいと思っています。

一年代表 篠原 咲弥君

二学期は「1000時間プロジェクト」や授業評価の取り組みを通して、学年・クラスが大きく成長しました。三学期はこの成果を活かしながら、来年度への準備として、特に「先輩らしくなる」ということを意識して生活していきたいと思っています。

あいさつや授業態度、行事に向かう姿勢に対する意識の低さが感じられます。「全員がはきはきとあいさつをすること」「全員が正しい態度で授業にのぞむこと」「全員が何事にも全力で取り組むこと」など、集団としての当たり前のレベルを今よりもっと高いものにしていきたいです。そのために、学年として次のような取り組みを考えています。一つは、学年の現状を明確にするために授業評価を5段階ではなく2段階にし、「だいたいできた」ではなく、できたかできなかったかという評価をしてもらうことです。もう一つ、先生方や先輩方とのあいさつを学年評議会が手本となり、率先して行いたいと考えています。これらの取り組みを学年で行ったり、まずは自分を中心となって積極的に行動したりして、今よりもさらにレベルアップした学年に成長できるように、三学期を有意義に過ごしていきたいです。

合唱発表会

12月17日(金)に3年生、20日(月)に2年生、21日(火)に1年生、と3日間に分散して体育館にて「合唱発表会」を行いました。練習時間や練習環境は決して恵まれたものではなかったと思いますが、どの学年・学級も個性あふれる演奏でした。立ち位置(並び方)も工夫してくれました。



新型コロナウイルス感染症対策

ここに来て県内では連日100名を超える感染者が確認されています。今後、本校生徒及び同居ご家族にも濃厚接触者・感染疑いがでてくるのではないかと考えます。万が一、本校生徒・関係者の中で感染者が発生した時、その影響を最小限に食い止めるため、「マスクをして1mの距離をとる。」ということを中心に教育活動をすすめています。また、登下校中については一人で登下校の場合はマスクをする必要はありませんが、会話しながら帰る場合はマスク着用をお願いしています。なお、1月18日に地域の感染レベルがレベル2に引き上げられたことを受け、同居家族に風邪症状がある場合は、登校前に必ずご連絡いただけますようお願いいたします。

2学期終業式の中のひとコマ

今年度は表彰披露を放送で行わざるを得ない状況が続いていました。本来であれば、すべての活動について改めて紹介したかったのですが、時間等の関係で、県代表レベルのみの紹介でした。紹介の後、1・2年生は3年生への感謝、3年生は1・2年生頑張れ、これからジュニアオリンピック・西関東大会がある部は頑張れ、いろいろな意味を込めて相互に拍手を送りました。

【コメント】はじめに陸上部で関東大会に出場した向山君・上野君です。特に、向山君は通信陸上・県総体の両方で県チャンピオンになりました。次に、女子卓球部の団体メンバー、男子卓球部の宮川君です。やはり、関東大会に出場しました。特に、女子卓球部は今年も県総体で団体優勝しました。次に、男子バレーボール部の県総体メンバーです。決勝で航空中学校には敗れましたが、みごと準優勝でした。関東大会では1回戦を突破し、2回戦で全国優勝したチームには敗れましたが善戦でした。大活躍してくれました。特に、上の段に立ってもらった河西君・平島君は12月26日から大阪で行われるジュニアオリンピックに山梨県代表として出場します。次に、女子バスケットボール部です。県新人体育大会で準優勝しました。新人戦なので関東大会はありませんが、来夏の活躍を目指し、更に力をつけていってください。

最後に吹奏楽部のアンサンブルメンバーです。木管五重奏ですが、県大会では素晴らしい演奏をしてくれました。県大会金賞(県代表)になりました。西関東大会も頑張ってください。

